

## 世界がんデーについて - 2月4日

世界対がんデーは、2000年2月4日にパリで開催された新世紀に向けた世界対がんサミットで制定され、それ以来、国際対がん連合（UICC）がこの世界的な団結の取り組みを主導してきました。

この日の目的は、がんの予防、検査、検出、診断、治療、ケアの進歩に向けて研究を促進し、意識を高め、世界社会を動員することです。

世界対がんデーの支持者は、世界的な意識向上、教育の改善、個人、団体、政府の活動の促進を通じて、誰もがそれぞれのニーズや好みに応じて、必要ながん予防、治療、ケアを受けられる世界を再構築するために協力しています。

毎年、世界中で何百もの活動やイベントが開催され、学校、企業、病院、市場、公園、公民館、街頭、オンラインでコミュニティ、組織、個人が集まります。

## 2025-2027 テーマ：ユニークさで結ばれる

「United by Unique」は、人々がそれぞれ独自の物語、ニーズ、視点、状況を持ち、ケアや医療制度を策定する際にはこれらを考慮する必要があることを強調する一方で、がんを経験したコミュニティやすべての人が、がんの負担を軽減するための行動を起こすという目標で団結しています。

### 主なメッセージ

- **患者中心のケア**：このキャンペーンは、がん治療の提供と医療制度の根本的な転換の重要性を強調し、医療治療と並行してがんの感情的、心理的、社会的側面を考慮した総合的なアプローチを推進します。
- **ユニークなヒューマンストーリー**：がんの診断には、それぞれユニークなストーリーが伴います。このキャンペーンは、こうしたストーリーを前面に押し出し、がんに苦しむ人々の多様な体験を紹介することを目的としています。
- 「がんの経験はそれぞれ異なります。病気を超えて患者よりも人間を見る世界を創るには、私たち全員が**団結する**必要があります。」

### キャンペーンの目標

- **意識を高める**：人間中心のがん治療の重要性と、がんに罹患した個人の特有のニーズについて一般の人々を教育します。
- **共感と思いやりを促進する**：医療従事者や介護者が、個人のニーズや状況をより理解した上でがん治療に取り組むよう促す。
- **行動を促す**：個人や組織が、人間中心のがん治療の取り組みを支援するための具体的な行動を起こすよう動機付けます。

詳細については、 <https://www.worldcancerday.org/the-campaign> をご覧ください。